

令和5年4月開始

看護師特定行為研修 募集要項

【急性期コース】

【慢性期・在宅コース】

（二次募集）

公立大学法人 奈良県立医科大学

【指定研修機関番号：1529001】

〒634-8521

奈良県橿原市四条町 840 番地

TEL 0744-22-3051 (内線 2184)

FAX 0744-23-8067

1. 特定行為研修における理念・目的・目標

(1) 理念

県下唯一の医科大学として、高度実践的看護臨床教育を通して地域医療の質向上に貢献します。また、特定行為を行う看護職としての社会的責任と役割を自覚し、新たな臨床看護の発展に寄与することのできる看護師を育成します。

(2) 目的

本特定行為研修により、地域医療及び高度医療の現場において、特定行為を実践する看護師としての社会的責任と役割を自覚しながら、高度な臨床実践能力を発揮し、チーム医療のキーパーソンとして機能できる看護師を育成します。

(3) 目標

本特定行為研修は、高度医療や地域医療の場において、特定行為に必要な臨床判断を包括的にできる能力、特定行為を倫理的かつ安全に行える能力、チーム医療のキーパーソンとして多職種と協働して問題解決できる能力、医学的視点と看護学的視点を融合した新たな看護展開を標準化する能力を養うことを目標とする。

2. 研修概要

(1) 研修を実施する特定行為区分及び特定行為

特定行為区分の名称		特定行為
①	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
②	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの） 関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更
		人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整
③	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの） 関連	人工呼吸器からの離脱
④	循環器関連	気管カニューレの交換
④	循環器関連	一時的ペースメーカーの操作及び管理
		一時的ペースメーカーリードの抜去
		経皮的心肺補助装置の操作及び管理
		大動脈内バルーンポンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整

特定行為区分の名称		特定行為
⑤	ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換
		膀胱ろうカテーテルの交換
⑥	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル 管理） 関連	中心静脈カテーテルの抜去
⑦	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理） 関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入
⑧	創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
		創傷に対する陰圧閉鎖療法
⑨	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血
		橈骨動脈ラインの確保
⑩	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
		脱水症状に対する輸液による補正
⑪	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整
⑫	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
⑬	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整
		持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整
		持続点滴中の降圧剤の投与量の調整
		持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整
		持続点滴中の利尿剤の投与量の調整
⑭	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時的投与
		抗精神病薬の臨時的投与
		抗不安薬の臨時的投与

(2) 受講区分

◇急性期コース

- ① 呼吸器（気道確保に係るもの）関連
- ② 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連
- ③ 循環器関連
- ④ 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連
- ⑤ 動脈血液ガス分析関連
- ⑥ 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
- ⑦ 血糖コントロールに係る薬剤投与関連
- ⑧ 術後疼痛管理関連
- ⑨ 循環動態に係る薬剤投与関連
- ⑩ 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連

※区分の選択はできません。**全ての区分**を受講していただきます。

◇慢性期・在宅コース

- ① 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連
- ② ろう孔管理関連
- ③ 創傷管理関連
- ④ 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連(必須)
- ⑤ 血糖コントロールに係る薬剤投与関連

※「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」を必須とし、他の区分は**希望する区分**のみの受講が可能です。（複数区分の受講可）

◇選択区分

- ① 栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連

※急性期コース、慢性期・在宅コースのどちらのコースでも希望により受講可能です。（選択区分だけの受講はできません。）

(3) 募集人員

◇急性期コース：3名程度

◇慢性期・在宅コース

- i) すべての区分を受講：若干名
- ii) 希望する区分を受講(複数区分の受講可)
 - ・呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連：若干名
 - ・ろう孔管理関連：若干名
 - ・創傷管理関連：若干名
 - ・血糖コントロールに係る薬剤投与関連：若干名

◇選択区分：若干名

(4) 研修期間（別添進度表をご参照ください）

1年間（令和5年4月～令和6年3月）

(5) 研修場所

奈良県立医科大学、奈良県立医科大学附属病院及び奈良県内の指定協力施設

(6) 教育内容

研修は、全ての特定行為区分に共通するものの向上を図るための「共通科目」と、特定行為区分ごとに異なるものの向上を図るための「区分別科目」に分かれています。各科目は講義、演習または実習によって行います。共通科目を全科目修得した後、区分別科目を履修します。

本学における研修は、「共通科目」の講義はe-learningでの個別履修、演習はWeb会議システムを利用した遠隔研修または集合研修、実習は集合研修となり、「区分別科目」はe-learningでの個別履修と独自のカリキュラムによる集合研修と臨床での実習を中心とします。

○共通科目

科目名称	時間数
臨床病態生理学	30時間
臨床推論	45時間
フィジカルアセスメント	45時間
臨床薬理学	45時間
疾病・臨床病態概論	40時間
医療安全学・特定行為実践	45時間
合計	250時間

○区分別科目

コース名	特定行為区分名称	時間数 (講義・演習)	時間 計	実習 症例数
急性期コース	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	9時間	172 時間	全ての 特定行 為ごと に5～ 10症 例
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	29時間		
	循環器関連	20時間		
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	7時間		
	動脈血液ガス分析関連	13時間		
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	16時間		
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	16時間		
	術後疼痛管理関連	8時間		
	循環動態に係る薬剤投与関連	28時間		
	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	26時間		

コース名	特定行為区分名称	時間数 (講義・演習)	時間 計	実習 症例数
慢性期・在宅 コース	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	8時間	96 時間	全ての 特定行 為ごと に5～ 10症 例
	ろう孔管理関連	22時間		
	創傷管理関連	34時間		
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	16時間		
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	16時間		
選択区分	栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型 中心静脈注射用カテーテル管理)関連	8時間		

(7) 研修修了要件

共通科目における評価（筆記試験・各種実習の観察評価）に加え、区分別科目における評価（筆記試験・実技試験・各種実習の観察評価）に合格し、当法人の特定行為研修管理委員会における最終の修了判定を経て理事長が修了を認定します。なお、修了者には修了証を授与します。

3. 応募要項

(1) 受講要件

受講申請にあたっては、次に定める要件を全て満たしていることとします。

- 1) 日本国内における看護師免許を有していること
- 2) 受講申請時点において、看護師免許取得後通算5年以上（急性期コースについては急性期領域が望ましい）の実務経験を有していること
- 3) 選択区分「栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連」については、受講修了後、各自施設において継続して相当数の症例の実務経験を積めること
- 4) 所属施設からの推薦状を添付できること

(2) 受講申請書類

- 1) 受講申請書（様式第1号）
- 2) 履歴書（様式第2号）
- 3) 志望理由書（様式第3号）
- 4) 受講推薦書（様式第4-1号）*推薦理由とともに組織としての活用計画（手順書作成体制、医療安全管理、研修終了後に貴施設で期待する役割や組織としての展望等）を具体的に記入してください
- 5) 受講同意書（様式第4-2号）
- 6) 看護師免許証の写し *A4サイズに縮小コピーしたもの
- 7) 認定看護師認定証もしくは専門看護師認定証の写し *有資格者のみ
- 8) 受験票送付用封筒 *長形3号、宛先を明記し、送料用切手404円（簡易書留料金を含む）を貼ってください

9) 合否結果通知用封筒 *長形3号、宛先を明記し、送料用切手414円(簡易書留料金を含む)を貼ってください

※1 履歴書等の書類に虚偽の記載を行った場合は、合格を取り消すことがあります。

※2 提出された書類は返却いたしません。

※3 ※欄の記入は不要です。

(3) 書類提出方法

上記(2)の書類を、下記担当あてに簡易書留で郵送又は持参してください。所定様式(受講申請書・履歴書・志望理由書・受講推薦書・受講同意書)はホームページよりダウンロードすることができます。封筒の表に「特定行為研修受講申請書類在中」と朱書きで明記してください。

【宛先】 〒634-8521 奈良県橿原市四条町840
公立大学法人奈良県立医科大学 看護実践・キャリア支援センター 特定行為研修担当 宛

(4) 書類提出期間

令和4年12月5日(月)～令和5年1月10日(火)(当日消印有効)
直接持参の場合は令和5年1月10日(火)17時を提出期限とします。

(5) 選考方法

書類審査、筆記試験、面接

(6) 試験日時

令和5年1月31日(火)

(7) 試験会場

奈良県立医科大学 スキルラボ棟3階(詳細は別添「案内図」をご覧ください)
※お車での来場はご遠慮願います。

(8) 選考結果

令和5年2月13日(月)15時に大学本部棟に合格者の番号を掲示するとともに、合格者には通知書を郵送します。

合格者一覧は本学ホームページでも見るすることができます。ただし、ホームページによる情報はあくまでも参考であり、合格の公示に代わるものではありませんので、掲示により確認してください。

※電話やFAXでの合否問い合わせにはお応えできませんので、ご注意ください。

(9) 受講手続き

合格通知の際に詳細をご案内します。

なお、受講にあたっては、当法人が指定する賠償責任保険に加入して頂きます。

4. 受講費用について

(1) 受講審査料（消費税および地方消費税含む）

20,000円

【振込期間】

令和5年1月12日（木）～ 令和5年1月18日（水）

※原則として入金後の返金は致しません。

(2) 研修受講料（消費税および地方消費税含む）

①急性期コース：850,000円

②慢性期・在宅 コース

i)すべての区分を受講：650,000円

ii)希望する区分を受講

・基本料(共通科目+栄養及び水分に係る薬剤投与関連)：430,000円

・呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連：50,000円

・ろう孔管理関連：100,000円

・創傷管理関連：100,000円

・血糖コントロールに係る薬剤投与関連：50,000円

③選択区分：100,000円

※振込期間等の詳細は、合格通知に同封します。（分割払い可）

※上記費用の他に、テキスト費用等が発生することがあります。

※一旦納めた受講料は原則として返還しません。

(3) 振込先

南都銀行 橿原支店

普通預金 0192567

名義人 公立大学法人奈良県立医科大学理事長 細井裕司

(4) 注意事項

・受講審査料および研修受講料の振込先は同一です。

・振込手数料は受講希望者の負担となります。

・振込依頼人は以下のとおり入力してください。

トク) + 氏名 (姓と名の間の空白は不要です)

【例】医大 花子さんの場合 → トク) イダイハナコ

5. その他

- ・講義や演習で使用するため、各自、ノートパソコン(タブレットは不可)・Webカメラ・マイク・イヤホン
を準備してください。
- ・自宅でのe-learningやリモート研修のため、インターネット接続が必須です。
- ・選択区分「栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連」の実習は、奈
良県立医科大学附属病院 I V R センターにて、X線透視下で行います。

○問い合わせ先○

〒634-8521

奈良県橿原市四条町840番地

公立大学法人奈良県立医科大学 看護実践・キャリア支援センター 特定行為研修担当

TEL : 0744-22-3051 (代表) 内線2184・2185

FAX : 0744-23-8067

メール : kangojissen@naramed-u.ac.jp

【令和5年度】 公立大学法人奈良県立医科大学 特定行為研修モデル

◆急性期コース

科目名		令和5年4月	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月	令和5年8月	令和5年9月	令和5年10月	令和5年11月	令和5年12月	令和6年1月	令和6年2月	令和6年3月
共通科目	臨床病態生理学	→	→	→	→								
	臨床推論	→	→	→	→								
	フィジカルアセスメント	→	→	→	→								
	臨床薬理学	→	→	→	→								
	疾病・臨床病態概論	→	→	→	→								
	医療安全学・特定行為実践	→	→	→	→								
区分科目	呼吸器（気道確保に係るもの）関連					→	→	→	→	→	→	→	→
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連					→	→	→	→	→	→	→	→
	循環器関連					→	→	→	→	→	→	→	→
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連					→	→	→	→	→	→	→	→
	動脈血液ガス分析関連					→	→	→	→	→	→	→	→
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連					→	→	→	→	→	→	→	→
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連					→	→	→	→	→	→	→	→
	術後疼痛管理関連					→	→	→	→	→	→	→	→
	循環動態に係る薬剤投与関連					→	→	→	→	→	→	→	→
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連					→	→	→	→	→	→	→	→	

研修修了判定

◆慢性期・在宅コース

科目名		令和5年4月	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月	令和5年8月	令和5年9月	令和5年10月	令和5年11月	令和5年12月	令和6年1月	令和6年2月	令和6年3月
共通科目	臨床病態生理学	→	→	→	→								
	臨床推論	→	→	→	→								
	フィジカルアセスメント	→	→	→	→								
	臨床薬理学	→	→	→	→								
	疾病・臨床病態概論	→	→	→	→								
	医療安全学・特定行為実践	→	→	→	→								
区分科目	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連					→	→	→	→	→	→	→	→
	ろう孔管理関連					→	→	→	→	→	→	→	→
	創傷管理関連					→	→	→	→	→	→	→	→
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連					→	→	→	→	→	→	→	→
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連					→	→	→	→	→	→	→	→

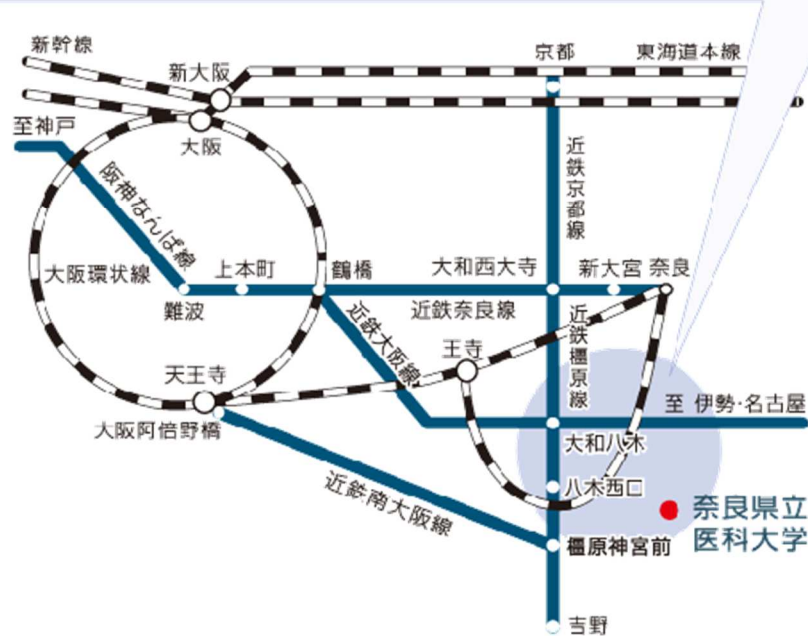
研修修了判定

◆選択区分

科目名	令和5年4月	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月	令和5年8月	令和5年9月	令和5年10月	令和5年11月	令和5年12月	令和6年1月	令和6年2月	令和6年3月
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連					→	→	→	→	→	→	→	→

修了判定

交通案内



電車のご利用

- JR 桜井線 畝傍駅下車 徒歩約 10 分
- 近鉄大和八木駅下車 徒歩約 15 分又はバス約 8 分
- 近鉄八木西口駅下車 徒歩約 8 分

バスのご利用

近鉄八木駅から

- 「医大病院玄関口」下車 (奈良交通バス)
- 「奈良医大病院」下車 (橿原市コミュニティバス)

※上記以外にも国道 24 号線沿いバス停 (医大病院前) もご利用頂けます。但し、病院玄関までは徒歩 2 分要します。

案内図



※公共交通機関をご利用ください

